

風しん

風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。

症状や特徴

★主な症状

- ・発熱や発疹 ・リンパ節の腫れ

★主な特徴

- ・約2～3週間の潜伏期間
- ・大人が発症すると発熱や発疹の期間が子供に比べ長く、関節痛がひどい事が多いとされています。
- ・風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群の子ども(眼や心臓、耳等に障害をもつ)が生まれてくることがあります。妊婦の周りにいる人(妊婦の夫,子ども,その他の同居家族等)は風しんに感染しないように予防に努めて下さい。



感染経路

飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。

どうやって予防する？

★予防接種を受ける

風しんワクチン（主に接種されているのは、麻しん風しん混合ワクチン）を接種することによって、95%以上の人が発熱や発疹の期間が子供に比べ長く、関節痛がひどい事が多いとされています。また、2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができます。さらに、接種後年数の経過と共に、免疫が低下してきた人に対しては、追加のワクチンを受けることで免疫を増強させる効果があります。



風しんにかかったら受診は？

発熱、関節炎などに対しては解熱鎮痛剤が用いられますが、特異的な治療はなく、症状を和らげる対症療法のみとなります。

- ・受診の際は必ずマスクの着用をしてください。

風しんにかかったら学校は？

風しんは学校保健安全法により第2種感染症に指定されて「発しんが消失するまで出席停止」とされています。登校停止感染症としての手続きが必要です。國學院大學ホームページを参照してください。

厚生労働省 HP 風しんについて

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index.html